

緊急消防援助隊情報

平成25年度地域ブロック合同訓練の実施結果について

広域応援室

北海道東北ブロック 推進協議会北海道実行委員会

平成25年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練は、北海道の地域特性を踏まえ、「実践的な訓練の推進を図るため、訓練想定等の一部を事前に明らかにしないブラインド型訓練および複数会場で分散並行型の訓練等を行うとともに、自衛隊・海上保安庁・警察等の防災関係機関や医療機関・DMATとの連携を推進する。」という基本方針の下、東日本大震災以降初の実動訓練として過去最多の246隊933名の参加により、北海道苫小牧市において次のとおり実施しました。

1. 実施日

平成25年10月11日（金）・12日（土）

2. 実施場所

(1) 消防応援活動調整本部等設置・運営訓練（11日）

北海道庁、苫小牧市役所

(2) 部隊参集訓練及び受援対応訓練（11日）

苫小牧市、札幌市、函館市、小樽市

(3) 後方支援活動訓練（11日）

苫小牧市弥生町「旧苫小牧市立弥生中学校グラウンド」

(4) 部隊運用訓練（11日・12日）

ア 第1ステージ（11日）

苫小牧市汐見町「旧漁民アパート」

イ 第2ステージ（11日）

苫小牧市汐見町「旧ケーソンヤード」

ウ 第3ステージ（12日）

(ア) 主会場

苫小牧市汐見町「ケーソンヤード」「旧ケーソンヤード」

(イ) 津波漂流者救出訓練及び倒壊建物救出訓練会場

苫小牧市汐見町「ふるさと海岸」

(ウ) 大規模危険物施設消火訓練会場

苫小牧市字静川「北海道石油共同備蓄株式会社北海道事業所」

3. 実施内容

(1) 訓練想定

平成25年10月11日（金）午前9時00分頃、北海道苫小牧市を震源とするマグニチュード9.0の地震および北海道太平洋沖を震源とするマグニチュード8.9の地震が相次いで発生し、苫小牧市において震度7の激しい揺れを観測した。

この地震により、市街地では建物の倒壊や火災、道路や電気等のライフラインが寸断する等の被害が発生している。また、沿岸部には大きな津波が押し寄せて家屋等が流出し、人的被害は今後さらに拡大する模様である。さらに、特別防災区域では石油コンビナート火災が発生しており、北海道内の消防力では対応が困難なため緊急消防援助隊の応援を受ける。



指揮支援本部設置運用訓練（10月11日苫小牧市役所）

(2) 応援要請等情報伝達訓練及び消防応援活動調整本部等設置・運営訓練

地震発生後直ちに、北海道庁に消防応援活動調整本部、苫小牧市役所に苫小牧市消防本部指揮本部及び緊急消防援助隊指揮支援本部を設置し、応援要請等の情報伝達、応援部隊配備等の図上訓練をロールプレイング方式により実施した。

《今後の課題等》

- 訓練結果を今後の活動に活かすため、長時間にわたる活動を見据えた情報の管理方法や共有方法及び受援計画の効果的運用などについて検討が必要



である。

(3) 部隊参集訓練及び後方支援活動訓練等

部隊参集訓練は、北海道の地域特性を踏まえ進出拠点を複数箇所設置し、管轄消防本部による受援対応訓練を実施した。また、後方支援活動訓練は、閉校した中学校を活用し、既設の電源等を使用しない宿営も実施した。

《今後の課題等》

- 悪天候であったため、グラウンドに駐車した車両の一部がスタックするトラブルが発生した。天候状況を考慮し、他に駐車出来るスペースを確保するなどの配慮が必要である。



後方支援活動訓練 (10月11日)

(4) 部隊運用訓練

指揮支援部隊長(札幌市消防局)、指揮支援隊長(仙台市消防局・新潟市消防局)の部隊統制の下、1日目には解体予定の共同住宅を使用した救出訓練(第1ステージ)、夜間訓練として倒壊建物救出訓練など(第2ステージ)を実施。2日目には大規模危険物施設消火訓練(特別防災区域内)や津波による倒壊建物救出訓練、座屈ビル救出訓練など12項目の訓練を実施し、部隊配備等については、事前に参加部隊には明かさずに参集時に配布した活動指示書により指揮支援隊が行った。また、第1ステージ及び第2ステージは、悪天候の中での実施であったが参加隊員は最後まで高い士気を維持しながら活動し、より実戦に近い訓練であった。

《今後の課題等》

- 関係機関との通信手段として防災相互波を活用したが、担当者によっては防災相互波についての認識がなかった。今後は、関係機関との防災相互波を活用した訓練を実施するなど、周知が必要である。
- 無線の使用波が1波であったため、輻湊等により

使用が困難な状況であった。携帯電話等の通信手段による補完も考慮すべきである。

- 警察及びDMA Tとの連携については、各機関から消防指揮隊に到着報告が行われ、活動経過報告等の情報共有が図れた。引き続き、関係機関との連携強化を図る必要がある。



倒壊建物救出訓練 (10月11日)



座屈ビル救出訓練 (10月12日)

4. おわりに

今回の訓練は、悪天候によりヘリコプター運用や訓練の一部が中止となりましたが、ブラインド型訓練を多く取り入れ、緊急消防援助隊の運用や関係機関との連携体制についての検証ができ、大変有意義な訓練となりました。今後は、本訓練での成果や課題を踏まえ、緊急消防援助隊等の円滑な応援体制の一層の強化及び関係機関との連携強化に努めなければならないと考えております。今回の訓練に際しまして、多大なご協力を賜りました北海道東北ブロック各県、参加各消防機関及び関係機関の皆様へ心より感謝申し上げます。

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部防災課 広域応援室 高池
TEL: 03-5253-7527 (直通)